

【消息 報告】

・イースター礼拝 報告

コロナ禍ではありましたが、この機会に礼拝堂で礼拝を捧げたいと、第一礼拝17名、第二礼拝47名の出席がありました(ほかに、小学校礼拝に小学生3名、中学生3名)。

一人の姉妹が洗礼を受け、すでに教会で長らく奉仕をしてくださっているご夫妻の会があり、イースターにふさわしい記念の時でした。

リモート賛美はクリスマスに続いてのチャレンジ。聖歌隊奉仕ができないのは残念ですが、主を賛美する心を合わせる事ができて感謝でした。製作にあたっての裏話は、お目にかかったときに担当者に聞いてください。楽しいひとときでした。

コロナ禍という困難の中ですが、まさに復活の主が共におられることを感じる事ができるイースターとなり心より主を賛美します。

・5月の聖務表と祈祷カレンダーは次週5月1日に発行します。



・取手シオン会堂建築 会堂建築工事に向かつて準備が進んでいます。現在の会堂用地での建て替えのため、建築中の礼拝会場や牧師の住まい、教会備品の保管場所も確保しました。

5月15日(日)蒲田礼拝に建築委員3名が出席し、献金アピールがあります。建築資金の大部分は取手メンバーによる自己資金です。蒲田としてもできる範囲で協力しましょう。

No.4 2022・4・24

イエスは近づいて来て、彼らにこう言われた。「わたしには天においても地に
おいても、すべての権威が与えられています。ですから、あなたがたは行って、
あらゆる国の人々を弟子としなさい。父、子、聖霊の名において彼らにバプテ
スマを授け、わたしがあなたがたに命じておいた、すべてのことを守るよう
に教えなさい。見よ。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいま
す。」

マタイの福音書 28章18、19、20節

1年を掛けて扱ってきたマタイの福音書
も、いよいよ最後の部分です。

復活したイエス様は弟子たちを集めて地
上での最後のメッセージを告げます。そこ
にはマタイの福音書で扱われてきたことが
凝縮されています。

イエス様は「あらゆる国の人々」に福音を
伝えることを求めています。それは「あなた
がた」、つまり弟子たちに託された使命です
から教会に託された使命であるということ

です。私たちはこのことを受け止め、この時
代に福音を宣べ伝える教会であり続けるこ
とを心がけましょう。

ただし、だからと言って、やみくもに突っ
走ればいいわけではありません。マタイの
福音書は実は当初から神のご目的が世界宣
教であることを示しています。イエス様の
系図に異邦人が含まれていることや東方の
博士たちが生まれたばかりのイエス様を礼
拝したことから明らかです。福音宣教を開

始したイエス様は、当初、イスラエル人へ福
音を語りました。弟子たちを派遣したとき
には、その時にはまだ異邦人への伝道を止
めました(10章)。聖書全体を見ても、弟
子たちがこのあとすぐに全世界に出て行っ
たかという、使徒の働きによればエルサ
レム会議や迫害を経てから世界へ出て行っ
たことが分かります。特に大きなことはパ
ウロの出現です。見方を変えれば、世界宣教
の本格化はパウロの出現を待ちました。

つまり、教会が宣教の対象を世界大へと
広げるには段階を踏む必要があるというこ
とです。この教会の現状と力量を把握して、
今できることはどこまでかを捉え、枠を広
げるにはどうするかを考える必要があります。
特に大切なのは、共にいる、と仰る主の
導きに委ねることです。それこそがすべ
た(泰)

4月24日 聖日礼拝

第1礼拝 9時 穂谷牧師 荻野し兄
第2礼拝 11時 荻野牧師 高橋美姉

前奏

招詞 詩篇32篇8節

会衆賛美 聖歌134 (1〜3節)

会衆賛美 鹿のように (1回)

主の祈り

交読 詩篇146篇1〜10節

礼拝祈禱

使徒信条

聖書朗読 マタイの福音書

説教 福音を宣べ伝える 28章16〜20節

会衆賛美 聖歌547 (1〜3節) 荻野泰弘牧師

献金

頌栄

祝祷 聖歌377 すべての恵みの

報告

感謝祈禱

奏楽

【招詞(主の招きのことば)】

詩篇32篇8節

「私は あなたがたが行く道で
あなたを教え あなたを論(まじ)そう。
あなたに目を留め 助言を与えよ
う」アーメン

【本日の予定】

●礼拝映像ネット配信

9時から

●礼拝後

・会堂清掃・礼拝堂イス拭き
・週報発送準備

●小学科礼拝 10時30分〜
(オンライン併用)
お話 穂谷牧師

●ホザナ礼拝 10時30分〜
(オンライン併用)
お話 林修養生

【午後の予定】

●宣教会部会 12時30分〜13時

【本日の奉仕者】

●第1礼拝

礼拝祈禱 林修養生

聖書朗読 司会者

献金1階

献金祈禱 司会者

報告 司会者

受付 司会者

配信 林修養生

●第2礼拝

礼拝祈禱 司会者

聖書朗読 司会者

献金1階

献金祈禱 司会者

報告 司会者

会場 司会者

受付 司会者

林 良男
金川和子

【次週の礼拝説教】

ルカ 24章13〜31節

説教 穂谷弘二牧師

**イースターを越えた教会は
ペンテコステへ向かいます**

先週はイースターを共に祝うこと
ができて感謝でした。

教会暦はアドベント(待降節)から
始まります。アドベントとクリスマス
からレント(受難節)とイースター、
そこを越えてペンテコステまでが教
会暦の前半の半年です。イエス様の誕
生と十字架、復活、そして聖霊降臨が
記念される期間です。教会暦ではこれ
を『主の半年』と呼ぶそうです。

ペンテコステを越えて、次のアドベ
ントに向かう後半の半年は『教会の半
年』と呼ばれます。考えてみると、シ
オン教会としてはこの期間に召天者
記念礼拝・墓地利拝、そして創立記念
礼拝を過ごします。

聖霊に導かれて私たちは主の再臨
を待ち望み、天の故郷を目指していま
す。地上においては、福音宣教の使命
が託されています。教会暦を辿り、シ
オン教会の歩みを重ね合わせながら、
主から与えられている望みと託され
ている使命を覚えたいものです。

【今後のスケジュール】

●5月8日(日)

母の日礼拝

説教 荻野牧師

第1礼拝と第2礼拝を行います。

●6月5日(日)

ペンテコステ礼拝

説教 荻野牧師

第1礼拝と第2礼拝を行います。

【礼拝説教の聖書箇所について】

2022年度は出エジプト記を扱
います。出エジプト記には、イスラエ
ルがエジプトの奴隷から救い出され、
神の導きのもとに荒野を旅すること
と、十戒と律法が与えられ、礼拝の場
として幕屋を建設することが記され
ています。イスラエルが救われて神の
民として整えられていく姿に学びま
す。コロナ禍で教会は分断されていま
す。出エジプト記から「福音理解」「教
会理解」を深め、教会と礼拝の大切さ
を学びたいと思います。
今回は1章ごとに扱うのではなく、
大きな区分に分けて15回程度で扱
いたいと考えています。

【新型コロナウイルス関連】

●礼拝式について

*礼拝堂での出席を希望される方は、
事前の申し込みをお願いします。

・礼拝堂で出席の場合はマスク着用、
手指消毒のご協力をお願いします。

・体調が優れない方は出席を控えて
ください。

東京都の新規感染者数はいまだ
5千人をくだらないとはいえず、今の
ところ減少傾向のように見受けら
れます。地方では第7波の声も聞か
れます。教会でも警戒感を持ちなが
ら、メリハリをつけた運営を心がけ
たいと思います。

先週のイースターには、この時に
どの思いもあったよう、通常より
も多くの方が来会されました。な
かなか判断の難しいところではあり
ますが、礼拝堂での出席については
デイスタンスの確保ができる範囲
で受け付けています。ご不明な点は
お問い合わせください。